

# ニュースクリップ & 映像教材

- 2006国際放送機器展「Inter BEE 2006」
- 日本シミュレーション&ゲーミング学会2006年度秋季大会
- 「学習素材のデジタル化連携促進事業」成果発表会
- 「第17回兵庫県丹波篠山ビデオ大賞」参加作品募集
- 第13回大阪ヨーロッパ映画祭

## AV情報

### ■2006国際放送機器展「Inter BEE 2006」

(社)電子情報技術産業協会は、国内外のトップレベルの放送関連機材を一堂に集めた展示会を開催する。

〈日程〉

平成18年11月15日(水)～17日(金)

〈場所〉

幕張メッセ(千葉市美浜区中瀬2-1)

〈内容〉

映像・放送関連機材、HD対応の映像制作ソリューションや編集機器、カメラ、スタジオ機器、照明、中継システムなどの製品展示など。

〈申し込み〉

<http://bee.jesa.or.jp>から事前登録をする。

〈問い合わせ先〉

日本エレクトロニクスショー協会  
TEL 03-5402-7601

## 研究会情報

### ■日本シミュレーション&ゲーミング学会2006年度秋季大会

「シミュレーション&ゲーミングを導入した学習の教育への適用」をテーマに、日本シミュレーション&ゲーミング学会による秋季大会が開催される。

〈日程〉

平成18年11月10日(金)～12日(日) ※時間帯は、<http://www.jasag.jp/2006/program.html>を参照のこと。

〈会場〉

立命館大学衣笠キャンパス(京都市北区等持院北町56-1)

〈内容〉

教育関係者(教育委員会、教員)を対象に、児童・生徒・学生による体験セッション、一般セッション4、企画セッション7等

〈問い合わせ先〉

mail secretary@jasag.jp

### ■「学習素材のデジタル化連携促進事業」成果発表会

(財)学習ソフトウェア情報研究センターでは、「デジタル機器、インターネットを使って学習活動を広げよう」をテーマに、下記により成果発表会を開催する。

〈日時〉

平成18年12月6日(水) 13:00～16:00

〈場所〉

国立科学博物館(東京都台東区上野公園 7-20)

〈参加費・定員〉

無料、80名。

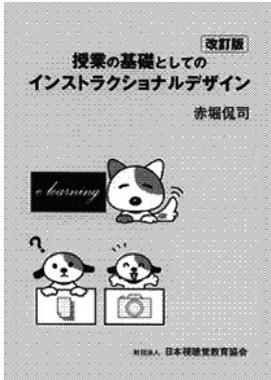
〈内容〉

「オホーツク食と農」学習連携実践協議会、「関東網の道」学習連携実践協議会、「神戸防災学習」コンテンツ連携協議会による成果報告他

〈申し込み締め切り〉

平成18年11月17日(金)

## ブックレビュー


**「改訂版 授業の基礎としての  
インストラクショナルデザイン」**

赤堀侃司著 (財)日本視聴覚教育協会  
2006年9月刊 A5判 272頁  
1,680円(税込)

学校教育におけるICTの活用は、魅力ある授業、分かる授業を実現するための新しい方法論として位置づけられ、その実現にはICTを活用した教育を行うにはICT環境の整備のみでは不十分で、整備されたICT環境を実際に教員が活用する必要がある。しかし、ICTを活用した教育は、現在必ずしも十分ではなく、「無理やりICTを活用しているに過ぎず、『分かる授業』につながっていない」といった意見や、教員の意識の低さを指摘する意見もある。インストラクショナルデザインは、本書では「カリキュラムや研修プログラムなどの開発・実施・評価までをどのようにデザインするか。Webを用いた遠隔授業をどう設計するか、通常の授業の指導

案をどう作成・実施・評価するか、という幅広い教育の設計を示す。」と定義されている。つまり、本書は、eラーニングを含めたICTを活用した学校教育における実践的な授業デザインにおける実践的な授業デザインの設計手法の解説書と言える。ICTを利活用した授業効果に対する理解を深めるためにも、また、その方法論について知りたい方は是非読んでいただきたい。本書は、主に学校教育やeラーニングを想定してあるが、むしろ高等教育、企業内教育、生涯学習や研修に適した設計手法のテキストとしても利用できる。

今回の改訂版で、観点別評価、絶対評価、学力、質問の生成、スキーマの活用などが変更追加され、より実践的な授業設計法を著した良書といえる。

(岐阜女子大学教授 久世 均)

〈問い合わせ先〉

(財)学習ソフトウェア情報研究センター

TEL 03-5919-3401

## コンクール情報

**■「第18回兵庫県丹波篠山ビデオ大賞」参加作品募集**

丹波篠山ビデオ大賞実行委員会では、標記コンクールの作品募集を行っている。

〈部門別テーマ〉

**◆グランプリ部門(各8分以内)**

- ①「いっしょに生きる」
- ②「明日に挑戦!」(新設)
- ③「私が見つけた丹波篠山」

**◆デビュー部門(3分以内)**

テーマの制限はなし。

〈応募条件〉

アマチュアであること/他のコンクールにて入選以上の賞に該当していないこと等

〈応募締め切り〉

平成18年11月30日(木)

〈応募・問い合わせ先〉

篠山市視聴覚ライブラリー内丹波篠山ビデオ大賞実行委員会事務局

TEL 079-590-1301

## 各地の情報

**■第13回大阪ヨーロッパ映画祭**

映画を通じて、日本とヨーロッパの相互理解を図ることを目的に、大阪ヨーロッパ映画祭実行委員会・大阪ヨーロッパ映像文化振興会主催による映画祭が開催される。

〈日程〉

平成18年11月3日(金)~29日(水) ※期間は、関連イベントを含。詳細は<http://www.oeff.jp/>を参照。

〈場所〉

海遊館ホール(大阪市港区海岸通1-1-10)他

〈問い合わせ先〉

大阪ヨーロッパ映画祭実行委員会  
TEL 06-6882-6213

## 短 信

■(社)映画産業団体連合会、(社)日本映画製作者連盟、(社)日本映画テレビ技術協会は、下記へ移転した。

〒103-0027 東京都中央区日本橋1-17-12

(社)映画産業団体連合会

TEL 03-3243-5585

FAX 03-3243-5584

(社)日本映画製作者連盟

TEL 03-3243-9100

FAX 03-3243-9101

(社)日本映画テレビ技術協会

TEL 03-5255-6201

FAX 03-5255-6202

## 訃 報

■視聴覚ライブラリーの公立化に尽力された内海貞太郎氏(元全国視聴覚教育連盟専門委員、中央功労者)が、10月22日ご逝去された。享年88歳。

## トピックス

## 第3回「育て！プリントコミュニケーション」コンクールの作品募集

学校で日々つくられる各種通信は、教員と児童・生徒、学校と家庭、そして地域社会とのコミュニケーションに欠くことのできない大切なもの。学校におけるよりよいコミュニケーション環境の醸成をめざし、その編集・制作の質を高めることを目的に、(財)理想教育財団では、標記コンクール（後援：全国新聞教育研究協議会、日本教育新聞社、教育家庭新聞社、協賛：理想科学工業株式会社）の作品を募集している。詳細は以下のとおり。

## ＜応募作品＞

教職員が「通信」を目的として編集・制作したもので、定期的に発行されたもの。たとえば学級通信、学年だより、学校だより、教科通信、給食だより、保健だより、図書室だよりなど。

## ＜応募資格＞

小学校、中学校、高等学校の教職員が対象。

## ＜応募条件＞

- ①平成18年4月以降に制作・発行された作品で、新聞・雑誌・コンクール等で未発表の作品に限る。
- ②他の作者の著作権に触れない作品であること。
- ③児童・生徒、保護者、地域社会に実際に配布した作品を提出する（たとえば掲示用はカラーで、児童・生徒、保護者などに配布した通信がモノクロの場合には、必ずモノクロの作品を応募する）。

募する）。

④学校現場の機器を使用して複数枚数制作した作品であること（外部に制作・印刷を委託した作品は対象外）。

⑤教材プリント、および児童・生徒が主体となって制作した学校新聞、学級新聞、学習新聞等は対象外。

## ＜応募方法＞

- ①応募票に（<http://www.riso-ef.or.jp/06pricom.htm>より）必要事項を記入し、作品に添付し、送付。
- ②学年、学校全体で制作した場合は、代表者が応募する。
- ③作品は定期発行性を示せる形で送付。

## ＜応募期間＞

平成18年10月1日（日）～平成19年3月31日（土）必着。

## ＜審査員および審査基準＞

## ●審査員（敬称略）

平沢茂（文教大学教育学部教授）  
富安敬二（立教大学文学部教授）  
吉成勝好（全国新聞教育研究協議会顧問）  
鈴木伸男（全国新聞教育研究協議会会長）  
羽山明（(財)理想教育財団理事



長)

## ●審査基準

審査では「継続性」「ニュース性」「ふれあい性」「正確・公平性」「読みやすさ」「双方向性」「独創性」および「教育波及効果」などから総合的に評価する。

## ＜賞＞

- 最優秀賞（理想教育財団賞）トロフィーと副賞（図書カード10万円分）1点
- 優秀賞（全国新聞教育研究協議会賞）（日本教育新聞社賞）（教育家庭新聞社賞）トロフィーと副賞（図書カード5万円分）各1点
- 審査員特別賞 オナーメントと副賞（図書カード3万円分）数点
- 審査員奨励賞 オナーメントと副賞（図書カード2万円分）数点
- 他

## ＜発表＞

平成19年6月上旬、財団ホームページ、季刊理想、日本教育新聞、教育家庭新聞紙上にて発表。

## ＜お問い合わせ先＞

(財)理想教育財団事業推進部  
TEL 03-3575-4313

## トピックス

2006年（第53回）教育映像祭中央大会  
開催される

本誌9月号で標記中央大会に関して「文部科学大臣表彰視聴覚教育功労者」「優秀映像教材選奨」「全国自作視聴覚教材コンクール」の功労者・入賞作品をお知らせした。本号では、去る9月22日（金）、東京・霞が関の東海大学校友会館において開催された、その表彰式の模様をお伝えする。

視聴覚教育大臣功労者および各コンクール最優秀作品（文部科学大臣表彰）は文部科学省生涯学習政策局長・田中壯一郎氏より授与された。また視聴覚教育中央功労者および各コンクール大臣賞以外の入選者へは（財）日本視聴覚教育協会・井内慶次郎会長より授与された。



当日は下記のような内容で表彰式が行われた。

- ①優秀映像教材選奨入賞作品上映会／全国自作視聴覚教材コンクール入賞作品発表会
- ②表彰式—主催者あいさつ／各賞の賞状の授与／文部科学大臣祝辞／謝辞
- ③教育映像祭記念レセプション



優秀映像教材選奨入賞作品上映会



全国自作視聴覚教材コンクール入賞作品発表会



文部科学大臣表彰視聴覚教育功労者を受賞する  
北海道の高氏敏夫氏



優秀映像教材選奨文部科学大臣賞を受賞する  
(株)桜映画社代表



全国自作視聴覚教材コンクール文部科学大臣賞を  
受賞する山形県北村山視聴覚教育センター代表



視聴覚教育中央功労者を受賞する生田孝至氏・  
湯地和夫氏